

「秋田大学学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日： 24年 10月 2日

所属： 教育文化 学部／研究科 国際言語文化 学科・課程・選修／専攻 1年

氏名：佐藤 華奈

派遣先大学名(国)：カナダ

在籍身分：

派遣期間：1か月

渡航年月日：2012/09/03

帰国年月日：2012/09/30

○派遣先大学における授業等の履修状況

(履修した講義名, 講義の履修期間, 週当たりの講義時間, 修得単位数などを確認できる成績表(写)等の添付)

Monthly English program

月曜から木曜まで、午前3時間、午後2時間の授業。

毎週金曜日には、アクティビティに参加した。

【以下について、様式任意 1,000字程度】

○研究・学習概要及び今後の勉強計画

(受講した講義の内容, 留学したことを本学での卒業論文や将来に向けてどう活かしていくか等)

授業は、スピーキング重視の内容が多かった。

先生が提示するトピックについて、グループやペアでディスカッションしたり、

1人ずつテーマに沿ってプレゼンをしたりした。また、今カナダで議論されている

いくつかのトピックについて、UVicに在籍しているカナダ人に調査しに行く授業も

あった。午前と午後で先生が変わるが、どちらの授業も楽しかった。ほぼ毎日宿題が出されたが、そんなに量は多くないので、放課後の自由時間は十分に持てた。

ネイティブの人との会話は想像以上に難しかったが、今の自分の実力でどれくらい通用するのかを確認できたので、これから1年間の交換留学を目標に、現地で学んできた事を復習し、日本にいながらも積極的に英語に触れるように頑張っていきたい。

○生活面について

(現地の学生との交流, 寮・下宿, 食生活, 習慣の違い・マナーなど)

現地の学生との交流は、授業の中の調査や、アクティビティに同行してくれたCA
(カルチュラルアシスタント)を通して行うことができた。

1か月ホームステイをしたが、ホストファミリーはほぼ全員ベジタリアンだった。
他の家族にもベジタリアンが多いなという印象を受けた。

交通手段として主にバスを使うが、思ったよりも時間通りに運行していた。

○その他留学全般にわたる感想

(写真等があれば添付願います)

夏休みを利用して1か月滞在したが、とても短く感じた。

ビクトリアはとても治安が良く、人も親切でフレンドリーなので過ごしやすかった。

クラスメイトとも仲良くなり、放課後にみんなでダウンタウンに遊びに行ったり、
バンクーバーに旅行したりなど、毎日充実していた。

現地で出会った人たちは皆いい人で温かかった。またいつか来れたら良いなと思った。



←Farewell partyにて
クラスメイトと先生方と。

クラスメイトとのバンクーバー旅行→



(様式2)



←ライトアップされる
BC州議事堂

The Butchart Gardens にて→

